

## 震度 5 弱以上の地震発災時の対応について

### 1 生徒の行動

#### (1) 学校にいるとき

窓や棚から離れる、机の下に入るなど、ものが落ちてこない、倒れてこない場所へ移動する、カバンや衣類などで頭を覆うなどして、安全を確保する。揺れが収まったら校内放送や近くにいる先生の指示にしたがって行動する。

#### (2) 登下校時

カバンや衣類などで頭部を保護する、自動販売機やブロック塀などの倒れやすいものから離れる、建物から落ちてくるガラスや垂れ下がった電線などに注意するなどして、自分の安全を確保する。

##### ① 地下街にいるとき

地下は地震に強いので、あわてないようにする。パニックになって出口に人が殺到すると事故につながるので、誘導にしたがって落ちついて行動する。

##### ② 駅のホームにいるとき

ホーム下に落下しないよう、姿勢を低くして柱などにつかまる。照明器具などの落下に気を付け、カバンや衣類などで頭部を保護する。不用意に路線に飛び降りるなどせず駅職員の指示にしたがう。

##### ③ 自転車に乗っているとき

道路の左側に寄せて止まる。近くの安全なビル等を見つけて中に逃げ込み、揺れが収まるまで待つ。落下してくるガラス、切れた電線などに注意する。

##### ④ 電車に乗っているとき

動いている電車では突然強い衝撃がくるので、倒れないように手すりなどをしっかりつかむ。安全を確保した後、⑦自宅に向かう、④田園調布高校に向かう、⑦警察、消防、駅員などの指示にしたがい、現在いる場所附近の学校や避難所に避難する、のうち最も安全な方法を選択し行動する。また、一段落した段階で、現在の自分の安否状況を、電話やメールで家族、学校へ連絡する。

### 2 学校の対応

生徒が在校中に発災した場合、余震の影響等を考慮し、原則として一定時間、生徒を学校で待機させる。その後、余震や道路、交通機関等の状況を踏まえ、

#### ① 生徒を帰宅させる。（状況に応じて帰宅方法を保護者と確認する）

生徒は帰宅後、家に到着したことを、電話やメールで学校に知らせる。

#### ② 生徒を引き続き学校で待機させる。

のいずれかの措置を取る。

### 3 学校の対応の保護者への連絡方法

本校ホームページ、PTAの緊急連絡メールを用いて行う。